

【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第8回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

整備新幹線や民間鉄道の建設、共有船の建造、旧国鉄の長期債務の償還と鉄道建設などに対する助成などの事業を行っている。整備新幹線の建設は助成勘定からの繰入金と国・地方自治体の補助金など返済を必要としない資金で全額が賄われており、事業リスクは極めて低い。一方、独自に資金を調達して鉄道施設を建設、完成後に鉄道事業者に譲渡する民鉄線等の事業では、いくつかの案件で鉄道事業者の収益計画が未達になり、資金回収が遅れている。ただし、こうした案件は国・関係自治体が一体となりリスクスケジュール計画を組んでいる。鉄道・運輸機構が多大な負担を強いられる懸念は小さい。また、内航海運業者と共有で船舶を建造する共有船事業は、内航海運業者の経営不振から未収金が増加、同事業を抱える旧船舶勘定(2006年度から旧造船勘定と統合し、海事勘定)は債務超過に陥っているが、運輸政策上、重要な役割を担っており、未収金問題については国と一体になって解消に向けた取り組みを進めている。国の運輸政策の執行機関として、国との強い一体性に変化はない。

【格付け対象】

発行者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第8回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	280億円
発行日	2006年6月22日
償還日	2010年6月21日
表面利率	1.35%
格付け	AA(新規)
受託会社	みずほコーポレート銀行(代表)、三井住友銀行
担保	一般担保付
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に基づく 受託会社が置かれる

発行体格付け： AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。